

令和3年度

盛岡外語観光&ブライダル専門学校

自己点検結果報告書

令和3年度自己点検・評価結果報告について

ここに学校法人龍澤学館 盛岡外語観光&ブライダル専門学校の自己点検・評価結果を公表いたします。

学校法人 龍澤学館
理事長 龍澤 正美

盛岡外語観光&ブライダル専門学校 令和3年度 自己点検表

1. 学校の教育目標
「社会で活躍できるホスピタリティ精神あふれる人材の育成」を教育理念とし、社会に有意な人材を輩出し業界への貢献を果たすとともに地域活性化に寄与する。
2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画
外国人旅行者数の増大によるインバウンドや東京オリンピックに向けた動きが活発となってきている状況下、サービス系の仕事に就く本校の各学科における人材育成は、ますますその果たす役割が高まってきている。この社会的要請に応えるために、学生に対し専門的知識や技術はもとより、社会人として保持すべき基礎学力やマナー、さらには、グローバル社会での活躍を目指すよう語学力習得を促す。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況

※適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1

(1) 教育理念・目標

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
課題	教育理念・育成人材像等の意識づけについて、AP、CP、DPの提示を行いながら、入学後の定期的周知の実施をすることができた。	
改善策	今年度からは「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」へ校名変更となり、改めて学校理念等の周知の必要性があるため、様々な手法を用いて広く提示していきたい。	

(2) 学校運営

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
課題	今年度はコロナ禍が学校運営に影響し、急な変更における対応を迫られることが多くあり、それに対する意思決定の明確さに課題が残った。	
改善策	改めて規則等の見直しを図り、あらゆる状況に臨機応変に対応できるように検討していく。	

(3) 教育活動

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界ニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
5	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
6	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	3
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
課題	成績評価に関しては指標の改定、評価平均値を定め取り組んできた。一方で、コロナ禍の影響により、地域連携やインターンシップ、教職員の研修実施が困難となり、このような浄化での活動方法に課題が残った。	
改善策	今年度からMCLスタンダードプログラム授業の開始するなどし、教育の質の向上を図ってきた。引き続き取り組んでいくとともに、コロナ収束後は、できなかった活動の再開を行い、緊急時への対策の改善を行っていく予定である。	

(4) 学修成果

	評価項目	自己点検・評価結果※
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	4
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3
課題	昨年度開始した卒業生の社会的活躍についての就業状況調査活動（はがき郵送）であるが、今年度はコロナ禍の影響もあり把握ができていない状況である。	
改善策	引き続き、卒業後の就業状況調査活動を継続しつつ、同窓会や講演会開催等の企画や、卒業生と連携した取り組みについて検討していくこととする。	

(5) 学生支援

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	3
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
課題	学校としての学生対応は年に1度の健康診断の実施に加え、登校前の検温など日頃の意識づけを行った。	
改善策	学校保健安全計画を定める他、担当教職員の配置や学生組織（保健委員会等）の設定、緊急時の体制整備を検討していく。	

(6) 教育環境

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	3
課題	就職活動等においてリモートが多用される機会が増えたが、ネットワークの遅延によりスムーズにいかないことがあり、対策が必要である。	
改善策	今後、リモートでの授業等も想定されるため、業者の再選定、機器の見直し、利用方法の周知を検討していく。	

(7) 学生の受入れ募集

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
課題	修学支援新制度（高等教育無償化制度）に対応できるよう学納金の内訳等について、検討と変更を行っている。	
改善策	学納金については、定期的に検証と検討を行い、法人本部と連携を図っていくこととする。	

(8) 財務

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
課題	法人本部で財務について適正に管理しており、財務情報についてはホームページで公開している。	
改善策	法人本部と今後も連携を図っていくこととする。	

(9) 法令等の遵守

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
課題	教育現場における学生に対するコンプライアンス方針（各種ハラスメント等）はガイドラインを定めているが、業界や地域社会に対する個人情報取扱に関しては、ガイドラインの制定が一部に留まっている状況である。	
改善策	民間企業同様、学校組織においてもコンプライアンス遵守の重要性を認知しながら、外部研修や勉強会を通して、社会的課題やコンプライアンス等について理解を増やす機会を段階的に設けていく。	

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
課題	今年度はコロナ禍の影響により、地域での活動に制限が生じ多くの活動ができなかった。そのような中でも、盛岡市鉾屋町と連携した同町をアピールする活動に取り組み、評価をいただくことができた。	
改善策	今後も社会や地域のニーズに応えられる社会貢献・地域貢献活動に協力していくこととする。	

(11) 国際交流

	評価項目	自己点検・ 評価結果※
1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4
2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	3
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3
課題	昨年度同様多くの留学生が入学し、在籍管理や学習・生活指導等について複数名教職員で対応している。学修・生活指導に関しては行き届いていない部分があったため、生活指導専任の職員をおいた。	
改善策	引き続き、留学対応に関して研修へ積極的に参加し、他校の対応事例を参考にしながら、専任の職員を中心に適切な対応にあたっていくこととする。	

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

今年度より新校名「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」となり、授業の新制度（90分授業）やMCLスタンダードプログラム授業の開始等、多くの新しい取り組みが実施され、学生の成長度も感じられた。一方で、コロナウィルス感染拡大という不測の前代未聞の事態により、新たな課題が浮き彫りとなった。新年度からは、今年度から運用が始まった取り組みを精査し、専門能力を育成する教育カリキュラムや各種支援体制について検討を重ねていく必要がある。

継続課題である「コンプライアンス体制」「要件等を備えた教員確保・マネジメント」について取り組んでいくとともに、新たな課題となった緊急時における意思決定・規則や、ネットワーク環境の充足などを、手法や時期などを検討しながら取り組むこととしている。引き続き、課題意識に対する検討と分析を行いながら、本校の存在価値を高められるよう実施を進めていくこととする。

令和3年度

盛岡外語観光&ブライダル専門学校

学校関係者評価委員会結果報告書

令和4年3月

学校法人龍澤学館
理事長 龍澤 正美

令和3年度学校関係者評価 報告

学校法人龍澤学館 盛岡外語観光&ブライダル専門学校では、本校規定に基づき、学校関係者評価委員会を実施致しました。以下に、その内容を報告致します。

今後は、各委員からの意見や指導等を真摯に受け止め、より良い教育、より良い学校運営を目指し、教職員一同努力して参ります。

引き続き、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

1. 学校関係者評価委員

氏名	企業・団体名	部署・役職
中村 正樹	盛岡商店街協同組合	事務局長
村上 浩紀	株式会社北日本銀行	人事部長
坂本 淳	岩手県中小企業団体中央会	企画振興部長
新沼 翼	株式会社盛岡シティホテルズ ホテルロイヤル盛岡	
佐々木 敏輝	株式会社近畿日本ツーリスト東北 盛岡支店	
佐々木 七彩	株式会社北日本銀行 都南支店	
藤原 知子	保護者	
杉田 陽子	盛岡中央高等学校	総合コース教員
龍澤 尚孝	盛岡外語観光&ブライダル専門学校	校長
畠山 英之	盛岡外語観光&ブライダル専門学校	統括主任
角津田 寿恵	盛岡外語観光&ブライダル専門学校	教務主任
千葉 綾子	盛岡外語観光&ブライダル専門学校	教務主任
工藤 恭人	盛岡外語観光&ブライダル専門学校	教務主任

2. 議論内容

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み、委員の安全を第一に考慮した結果、今回は集まっただけの議論は中止とした。

代わりに、今年度における「専修学校における学校評価ガイドライン」を踏まえて作成した評価項目による自己点検・評価の結果に基づいた課題・改善策、加えてコロナ禍における本校ならびに各学科の取組みをお送りし、それをもとに別紙同封した意見記入用紙にて意見をいただいた。

①教育理念・目標

学校の教育理念・目的・人材育成像については、学校としてAP（アドミッションポリシー）、DP（ディプロマポリシー）、CP（カリキュラムポリシー）の提示を行いながら、入学後の定期的周知の実施をすることができた。今年度からは「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」へ校名変更となり、改めて学校理念等の周知の必要性があるため、校外への発信にも注力していくことを報告した。

②学校運営

「運営組織や意思決定機能について」「業界や地域社会等に対するコンプライアンスについて」は、引き続き課題が残っている。これは、今年度はコロナ禍により学校運営において急な対応を迫られることが多く、それに対する意思決定の明確さに課題があるからである。規則等の見直しを図り臨機応変に対応できるよう検討していくこと、また学生の個人情報管理についてのガイドライン整備に関する説明を行った。

③教育活動

「関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携」「関連分野における実践的な職業教育」「人材育成目標の達成に向けた教員の確保」「関連分野における業界等との連携においた教育の確保」「関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための教員の取組み」について、コロナ禍の影響により地域連携や教職員の研修実施が困難となったこともあり引き続き課題が残った。今年度からは専門学校グループ共通カリキュラムを導入、開始し教育の質を図ってきたこと、コロナ収束後はできなかった活動を再開し取り組んでいく旨を説明した。

④学修成果

「卒業後のキャリア形成への効果の把握」の項目について、卒業生の社会的活躍の把握活動に関して、昨年度は卒業生の就業状況を調査するはがきを郵送する等の状況把握の仕組みを作り実施したが、今年度はコロナ禍の影響もあり把握ができていない状況である。調査活動を継続しつつ、同窓会や講演会開催などの卒業生と連携した企画を進めていくこと

を説明した。

⑤学生支援

「学生の健康管理を担う組織体制」「卒業生への支援体制」について、整備が十分になされておらず、個別対応にとどまっており課題が残った。今年度は、年に1度の健康診断の実施に加え、体調管理に関する日頃の意識付けを行ったが、今後は学校安全計画を定める他、担当教員の配置や学生組織の設定、緊急時の体制整備を整えていくことを説明した。

⑥教育環境

防災に関して、コロナ禍による密集防止のため避難訓練が実施できなかった。今後は、そのような状況下での防災計画を策定する必要がある。また、設備に関し、就職活動などにおいてオンラインが多用される機会が増えたが、ネットワークがスムーズに出ないときもあり、これから想定されるリモート授業などに向け、見直しの余地ある旨を説明した。

⑦学生の受け入れ募集

就学支援新制度に対応できるよう学納金の内訳等について検討、変更を行っている。定期的に学納金の検証、検討を行い、法人本部と連携を図っていくことを説明した。

学納金については、妥当なものとなっているが、次年度よりを説明した。外部委員からは特に意見は出なかった。

⑧財務

法人本部で財務に関して適正に管理しており、ホームページで財務情報を公開していることを説明した。

⑨法令等の順守

「個人情報保護の対策」について、学生に対するコンプライアンス方針のガイドラインは定めているが、業界や地域に対する個人情報に関するガイドラインは、制定が一部に留まっている状況である。教職員の研修や全体での研究を重ね段階的にガイドラインを制定していくことが必要である旨説明した。

⑩社会貢献・地域貢献

今年度はコロナ禍の影響により、地域活動も多く取り組むことはできなかったが、市内地域をアピールする活動に取り組み、高い評価をいただいた旨を説明した。

⑩国際交流

昨年度同様多くの留学生が入学し、「留学生の生活指導」「国内外で評価される取組み」についての対応が万全ではない状況となっている。生活指導については教職員が複数名で対応に当たっているが、今年度より学修・生活指導に関して生活指導専任の職員をおいた。今後も継続して他校の対応事例を参考にしながら、本部組織の担当部署とも連携を図りながら適切な対応にあたっていくことを説明した。国内外での取組みについては、時期や方法や効果等、今後鋭意検討していくことを説明した。

3. まとめ

今年度より新校名「盛岡外語観光&ブライダル専門学校」となり、授業の新制度や新カリキュラムの開始等、多くの新しい取り組みが実施され、学生の成長も感じられた。その一方で、コロナウイルス感染拡大という未曾有の事態により新たな課題も浮き彫りとなった。自己点検の評価項目については、状況報告及び改善策を説明し、外部委員の方々からは概ね良い評価をいただくことができた。しかしながら「コンプライアンス体制」「要件等を備えた教員確保・マネジメント」は継続課題である。また、新たに課題となった緊急時における意思決定やネットワーク環境の充足など、検討し取り組んでいく必要がある。

今年度から運用の始まった取り組みを精査し検討を重ね、継続課題には引き続き検討と分析を行いながら、活躍できる人材の育成を目指し、より充実した教育活動と高い学修成果を目指し、教育環境の整備に取り組んでいきたい。